

函館で震度6弱

1人軽傷 「1週間は注意を」

16日午後2時21分ごろ、道南を中心に強い地震があり、函館市川汲町で震度6弱を観測した。札幌管区気象台によると、震源地は内浦湾(噴火湾)で、震源の深さは約11キロ。地震の規模はマグニチュード(M)5.3と推定される。津波はなかった。同市内で女性1人が軽傷を負った。(35面)突き上げる揺れ直撃



気象台によると、道内で震度6弱を観測したのは2003年9月の十勝沖地震と同じ、震度6弱程度の地震

気象台によると、道内で震度6弱を観測したのは2003年9月の十勝沖地震と同じ、震度6弱程度の地震

気象台は記者会見で「今回とその余震以来13年ぶり。気象台は記者会見で「今回とその余震以来13年ぶり。」と呼び掛けた。函館市内ではその後17日午前0時までに、震度3〜1の揺れを8回観測した。



函館市南茅部地区では建物の天井が落下するなどの被害が出た。16日午後3時35分、函館市白尻町、南かやべ漁協本所

に約1週間は注意してほしい」と呼び掛けた。函館市内ではその後17日午前0時までに、震度3〜1の揺れを8回観測した。

道南によると、函館市川汲町の特別養護老人ホームで入所者の女性(82)の頭に、天井から落ちてきた暖房用のカバーが当たり、切り傷を負った。同市白尻町の南かやべ漁協では天井パネル20枚が落下。白尻小で体育館の外壁などがはがれ落ちた。同市縄文文化交流センターでは土器が破損したが、道内唯一の国宝「中

空士偶」は無事だった。JR北海道は地震発生から約3時間、函館線の函館―森間で徐行運転を行い、快速2本が運休、特急などが最大2時間半遅れた。影響人員は約1500人。JRから江差線の経営を引き継いだ第三セクター道南いさりび鉄道(木古内―五稜郭間)も普通3本が最大約

- 45分遅れ、約150人に影響が出た。北海道新幹線は通常通り運行。函館空港発着便への影響はなかった。
- 政府は、首相官邸の危機管理センターに官邸対策室を設置した。
- 道内の震度2以上の地点は次の通り。
- ▽震度5弱 函館市泊
 - ▽震度4 函館市新浜、函館市日ノ浜、七飯、鹿部
 - ▽震度3 函館、北斗、森町砂原、厚沢部、室蘭
 - ▽震度2 森、上ノ国、乙部、今金、せたな町北檜山、苫小牧、登別、白老、安平町

早来、新篠津、千歳、八雲町、熊石、長万部、福島、知内、木古内、二七、伊達、伊達市大滝、豊浦、壮瞥、洞爺湖、新冠

